

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会

協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-21 ときわ会館4F TEL080-4331-0290

埼玉県上尾市シラコバト団地被災者の会ひまわりによる

東日本大震災追悼式 2018年3月11日(日)

東日本大震災から7度目の黙祷の会を開催します。未来につながる会にしたいと思います。

14:00~第一部「黙祷の会」シラコバト団地ぞうさん公園 駐車場有

※雨天時は第一集会室にて開催。

15:30~第二部「語らいの集い」シラコバト団地第一集会室(24号棟)※粗宴の用意をしております。(飲食物持込歓迎。冷蔵庫有り)

JR高崎線北上尾駅東口より徒歩15分 桶川駅東口より徒歩20分

主催 東日本大震災に咲く会 ひまわり

問い合わせ シラコバト団地自治会 048-607-6723(当日休業) 橘(タチバナ)080-3091-6215



「福玉相談センター」 *2月1日より、「福島県県外避難者相談センター」から「福玉相談センター」へと
からのお知らせ 通称変更いたします。呼びやすくなりますので、どうぞお気軽にお電話ください。

第2回「相談・交流・説明会」を開催します

●2月24日(土) 午前10時から12時

●会場:ウェスタ川越 2階 会議室1

(川越市新宿町 1-17-17)

JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分、西武新宿線「本川越線」より徒歩約15分(駐車場利用料金は入庫後1時間無料 以後60分/200円。数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。)

●問い合わせ:福玉相談センター

フリーダイヤル:0120-60-7722

*受付時間9:00-17:00 月曜日~金曜日

福島県担当課からの支援取組についての説明と質疑応答のあと、交流の時間を持ちます。

後半には「健康に役立つ講話会」も計画中です。

住まいのこと、健康のこと、就労のことなど、個別相談も受け付けますので、ご希望の方は事前にご連絡ください。(個別相談のない方はお申込み不要です。)

寒さ厳しい時期ですが、ぜひお誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

隔月化のお知らせ



いつも「福玉便り」をお読みいただき、ありがとうございます。「福玉便り」は2012年4月の創刊以来、ほぼ毎月のペースで発行を続けてまいりましたが、編集部の人パワーに限界もあり、2018年度から「奇数月(5・7・9・11・1・3月)の隔月発行」とさせていただきますことになりました。回数は減りますが、必要としてくれる方がいる限り、できる限り長く発行を続けていきたいと考えています。編集部一同より、今後とも「福玉便り」を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ママランチ会 in大宮パレスホテル

●2月7日(水)午前11時~午後1時30分

※終了の時間はお子さんのお迎えに合わせてどうぞ

●パレスホテル大宮 1階レストラン「パルテール」

JR大宮駅西口より徒歩3分(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)

●参加費:大人一人1,000円(小学生未満 無料)

(通常は大人一人2,600円、4歳~小学生一人1,500円のランチです)

●申込み:電話での予約をお願いします。

2018年1月9日より受付開始 電話048-833-8731

(一社)埼玉県労働者福祉協議会9:00~16:00

●主催:ネットワークSAITAMA21運動

企画協力:福島県復興支援員埼玉事務所

埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-21 ときわ会館内

先着
40名様

子育てをがんばっている自分にご褒美を!
ホテルのシェフが作る
美味しいランチbuffetを一緒に
楽しみましょう。

●ママランチ会って?

埼玉に避難しているママ達が、子育てのこと、ママ自身のことなど、色々な思いを話しながら、おいしいランチを食べる会です。

暮れも正月も福島弁の 飛び交うふれあいセンター

秋のイベントシーズンが終わったと思ったら、もうクリスマスと年末年始。12月17日には、60人近くのお子さんが参加して、クリスマスのケーキ作りを実施しました。お母さんたちが迎えに来て、加須ふれあいセンターのメンバーと「あらー久しぶり」。お子さんたちも埼玉に来て7年目、「大きくなったねー」と盛り上がりました。毎年、さいたま市の教育支援協会の皆さんが開催してくださいます。

22日の忘年会では、藤田さんのご挨拶、志賀さんの一本締め、お店いっぱいに福島弁の笑い声があふれました。

25日には、福島・いわき・

小山・さいたま・

東京など全国各地に発送したお餅つき、そして28日にはセンターみんなのお餅つき。年が明けて1月8日のお餅つきでは、加須からいわきに移った方も夫婦で寄ってくださり、みなでお餅を食べました。あおばた入りの豆もちを食べ、「やっぱり塩味の豆もちはつきたてが一番！」と満足。全国の仲間とお餅を通して繋がったかなと、お餅に感謝の年末年始でした。(加須ふれあいセンター・富沢)



ふくしま避難者交流会

平成29年12月23日、東京・有楽町にある東京国際フォーラムにおいて、「ふくしま避難者交流会」が開催されました。この交流会は、東日本大震災により避難された方の集いの場として、東京都と公益財団法人さわやか福祉財団の協力を得て、震災以降、毎年開催しております。

当日は、90人以上の方に集まっていたばかり、市町村ごとに設けられたテーブルでは、参加した各市町村職員も交えて、懐かしいふるさとのお話に花が咲き、賑やかな交流会となりました。今回、避難された方々の手作りの逸品をお借りし、初めてロビーに展示させていただきました。絵画あり、パッチワークあり、陶芸や織物まで、皆さんが様々な思いを寄せた作品を展示できました。協力していただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

また、アトラクションとしていわき総合高校フラダンス部の皆さんのショーがありました。総勢14名のフラダンスショーは、優雅さの中に瑞々しさがあふれ、見ている人に勇気を与えてくれるようでした。

交流会の途中には、吉野復興大臣と内堀福島県知事が参加し、各テーブルを回り、皆様からお話を伺いました。震災から6年が経過し、避難された方の状況も大きく変化する中で、抱えている悩みや課題を率直に話されている方も多くいらっしゃいました。

今後とも、このようなイベントだけでなく、日常的に皆様の意見を聞き、お互いの交流が途切れることが無いような取組を、各自治体やNPO法人等の協力を得ながら、継続していきたいと考えております。

参加していただいた皆様、そしてスタッフの皆様、大変ありがとうございました。

(福島県避難者支援課 埼玉駐在)



『福玉便り』編集委員会

連絡先: NPO法人埼玉広域避難者支援センター

電話080-4331-0290

メール:fukutama@431279.com

こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をおよせください。

福玉便りのお届け作業と一緒にやっくださる方、大募集!

3月1日(木)13:30-16:00ごろ

場所:ときわ会館1F 福島県県外避難者相談センター 奥

印刷などの都合で日程が変更になるときがあります。できれば、ご一報・ご確認いただければ幸いです。080-4331-0290まで

「Life 生きてゆく」

自主上映会 報告

埼玉から福島を知るきっかけづくり、考える場作りを目指して活動している、埼玉大学学生サークルふくたますです。以前にお知らせした「南相馬ドキュメンタリー映画Life 生きてゆく」の上映会が12月9日(土) 市民会館うらわにて開催されました。当日は50名以上の方にお越しいただき、映画上映と笠井千晶監督への質問、感想共有など、有意義な時間を過ごすことができました。



福玉便りをみてお越しいただいた方もたくさんいました。様々な立場の方がいる中で、こういった映画を観ることに勇氣が必要なのも多いと思います。私たちも葛藤のある中での上映会の開催でした。しかし、その中でも多くの方に足を運んでいただき、時間を共有させてもらえたこと、とてもあ



がたく思います。本当にありがとうございました。「Life 生きてゆく」の内容はもとより、それぞれの立場の方々が同じ映画を観て、感想を共有できたことも、それぞれの方が新しい気付きを得るきっかけになったのではないかと思います。中には気が楽になったといってくださる方もおり、多くの方と共有することができたことが皆様にとっても良い時間となったなら幸いです。

私たち学生サークルふくたますのメンバーは、震災当時中学生でした。震災後の混沌とした中で成長してきて、大学生になった今、埼玉からもう一度福島に向き合っています。これから、私たちにできるやり方で福島に寄り添い、ともに生きていきます。そして、今の福島を知るきっかけや考える場を作ることにより、より多くの方が生きやすい社会を目指していきます。今後とも、よろしくお願いいたします。

(埼玉大学学生サークル 五十嵐)

教育
相談会

12月9日、ぼろろん・ここカフェ主催の「教育相談会」に、娘と二人で参加しました。初めての高校受験が避難先で、しかも、埼玉県の高校受験は特殊だと聞いていたので、とても不安でした。

当日はさいたまユースサポートネットの方からご説明があり、その後、参加者や立教大学の学生さんたちとお話しました。「確約」「北辰テスト」という言葉を耳にしても、最初は理解できませんでしたが、先生や先輩ママの話聞いて、少しずつではありますが、理解をしてきている状況です。

今までは、不安と焦りしかない私でしたが、受験の仕組みを教えてくださいださる先生やアドバイザーをしてくださる先輩ママが近くにいるという



は、心強いと感じました。

また、一緒に参加した娘も、高校入試は他人事でしたが、一気にやる気スイッチが入ったようです。現在、立教大学の学生さんからアドバイスを受けた通り、苦手教科については市販のワークを使い、復習に取り組みつつ、北辰テストへ向けての一步を踏み出したところです。

これから1年間、悔いが残らぬよう、そして、わからないことはお聞きしながら家族で頑張っていきたいと思っています。教育相談会を開催してくださり、本当にありがとうございました。

(ぼろろん参加者 古川)

川出一郎さん

加須市で「ふたば調理の会」「男の料理教室」の代表・双葉町からさいたま市に避難

原発で働きだしたのは、平成元年からで、十八年間勤めました。東海村に出張して仕事中に立ち眩みがして、おかしいなあ、熱中症かな？と最初は思ったのですが、高所作業を続けるのは危険だということ、一旦仕事をやめて精密検査をすることにしました。なかなか判明せず、何度も病院を変え、ようやく狭心症ということがわかって、二年間ぐらい投薬による療養生活を送っていました。

三月十一日は、自分の誕生日なんです。夜に飲む予定があったので家で昼寝をしていたら、地震が起きました。表に出たら、近所の人も同じように飛び出てきて、亀裂が入った道路を見て、抱いていた孫を安全なところに一刻も早く連れていってくれと託されたんです。自分は避難するつもりはなかったんですが、頼まれたので急いで避難所の中

学校へ行き、その晩はそこで過ごしましたね。その日は家族が来てからもしばらく自分から離れようとしなかったんですよ。次の朝、「逃げろ」と放送があり、原発で働く友人に「どんな具合だ？」と様子を聞いたら、「爆発したらいい」と言っただけです。それで、もう、だめだ、帰れな

いと思います。自分は車に乗らないのでその赤ん坊の家族の車に乗せてもらって川俣町に避難しました。川俣町では外を歩いていたら町民から「風呂に入っていけ」と



次回のメニューを検討中の川出さんと「調理の会」のスタッフ

声をかけてもらったんで「お尻がただれ始めた赤ん坊をまづいれさせてくれ」と頼んだこともありましたね。その後、スーパードリーナ、騎西高校へと移りました。川俣町、スーパードリーナでも、狭心症の薬はもらえました。

以前はいわき市に住んでおり、双葉町には通勤していた

んです。仕事後に飲みに行っていた双葉町のスナックの人から通ってくるのも大変だろうということだったので紹介された家に住むことになったんです。ですから避難する前は双葉町民との付き合いはあまりなく、騎西高校でも知っている人は少なかったです。

高校生の時も下宿していたし、一人暮らしの生活が長かったから、料理するのは得意だし、苦にならないです。

そのうち、避難が続く中で町民の生活意欲を維持するためにも、家庭科室を開放し、町民が温かい料理を食べる機会を提供できないかという声

が、支援団体からあがったように、町、支援団体、ボランティアが実施に向けて協議する会合に自分も呼ばれました。そこで「料理を作ってくれ」と言

われて冷汁を作ったら、支援団体の代表者が「この味なら大丈夫」と言ってくれ、調理道具を寄付してくれました。こうして月1回調理の会を開催することになったんです。開催日には家庭科室にあるテーブル七、八台が食べる人でいっぱいになったもんです。

自分が騎西高校を出たのは、閉所する二か月ほど前でした。高校では弁護士さんたちが相談に乗ってくれていましたが、そのスタッフの高野さんと気があって、よもやま話をする間柄になりました。これからは弁護士事務所に近い方が何かと便利だろうとい

ものも多かったですから、せてその人たちには双葉の味を食べさせてあげたいということでボランティアから声がかかり、こっそり生徒ホールでおしんこを作りました。サバの味噌煮、冷汁も作りましたね。父親が料理好きだった関係で、自分も子供のころから魚をさばいていました。中

高校生の時も下宿していたし、一人暮らしの生活が長かったから、料理するのは得意だし、苦にならないです。

うことで、彼がさいたま市内で部屋を探してくれました。最初に紹介してもらったアパートは何故か大家さんが貸してくれませんでした。別の候補地は買い物に行くにも不便な場所だったので困っていたところ、別の知人が今のアパートを見つけてくれました。偶然にも最初に断られたアパートのすぐ近くなので、そこを通るたびにここは断られたんだよね、と思います。



して生活をしていました。いつも顔を合わせていたし、お風呂では裸の付き合いなので、元気がどうか互いに気をつけることができました。でも、今はバラバラの生活になってしまいい、どうしているのか全くわからなくなっていましたね。

その後、ふたサボ(双葉町復興支援員)さんから「男の料理教室」を開催してほしいと頼まれました。郡山や白河での教室を見て、加須でもやったらいいのではと思ったようです。いいべ、やるべ、ということとで始めました。調理の会とは全く別ですね。一〇名ほどの参加者には自分が知らない町民もいました。この教室は自分たちが作って食べるというよりも、奥さんや町民女性たちにふるまうために作るんです。避難生活をしているんだから、双葉にいた時のようにふんぞり反って座って料理

が出てくるのを待っているんじゃない、だめだろう、ってことで。昨年秋季にはいわき市の男の料理

教室のメンバーとスカイプで交流し、一緒に料理会でもやっか、という話も出ました。ただこつちとは違うやり方のようで、ひとまず延期になっています。自分たちは、自分たちで材料費を出して、好きなものを作って食べるというやり方を取っています。調理の会の方も同じです。高校にいたときは弁当一食分以上の材料費は取らないと決めていたんですが、今は自分たちが食べたいものを自由に決めて作っています。でも、材料費が高いつか、安いとか、色々な意見があつて、離れてしまう人も出てきます。この辺はなかなか難しいですね。

難しいですね。

二つの料理の会を開催しているわけですが、別にストレスはたまらないですね。調理の会も料理教室も一回も休んだことがないです。料理が好きですし、一人者なので自分で作らないといけないのだし。さいたま市から加須市に行く時は、久喜駅乗り換えがある宇都宮線は使わず、高崎線しか使いません。電車の乗り換えが苦手なんです。それでも、電車に乗って、こうして仲間と会って、「元気でいたか?今日は旨かったなあ。また来月な」と会話をすることが自

分にとつても大切だと思っています。他の人たちも家から出れば、少しは気が晴れるんじゃないかな。そうでないと酒の量ばかり増えてしまい、身体悪くして、入退院を繰り返すことになってしまつてしまう。

これからどうするか。自分も先のことを考えると頭が痛いですが、住宅費補助はとりあえず平成三一年三月まで伸びはしました。でも、その後、もし打ち切られたらどうしたらいいんだらう、と悩むことがあります。六五歳以上で保証人を見つけてアパートを借りるのは難しいですから。いわき市の復興住宅に戻ればそうしたことは必要はないんですが。

自分は双葉町に帰るつもりはないですね。これから廃炉作業が始まって、完了するまで放射能が飛び散ると思うとまだ帰れないと思つています。役場からは家財道具について、前は、一切持ち出してはならないと言われていたんですが、今は自分で持つていくか、町に処分を任せる場合は同意書を書いてくださいと連絡がありました。自分にとつて一番難しいのが、いわきの寺の勧めで作った立派な仏壇ですね。大きくて今の住まい

には置けないし、細かい細工が施されているので完全に除染もできないですから。十何人分の先祖代々が眠っているんですが、処分するしかないでしょう。あと、鮎釣りもやっていたので竹竿も置いていますが、これも運び出せないですね。事故当時に住んでいたのは町営住宅だったので、どうやらそこが再生拠点と認定されて先行的な整備地区になっているようです。

借り上げ住宅の供与期間と医療費負担はまだ続くと思つていました。町民には賠償金をすでに使つてしまい、これから生活に困る者がたくさん出てくるのではないかと心配になります。そもそも賠償金だつて、自分の思うようにはもらえなません。これはダメ、これは認められないって、なんで東電からそう言われなくてはならないんだ?と思いますよ。自分たちは百円のものに二万円出せと言っているんじゃないんです。自分の立場になって考えてみろよと言いたくもありません。自分たちは着の身着のまま逃げてきたんです。東電の者も国の者もこういう避難生活なんてしたことがないのだから、高校に一週間泊まつてみたらどうだ、と言いたく

なりますよ。先の生活を考えるとストレスを抱えて病気になる者がたくさんいるんですよ。町議会にもこつちの町民の様子を見に来てくれやと話していますが、まだ来てくれていませんね。

介護保険で加須市にお世話になる者も増えてきました。が、そうすると、双葉町民なのにどのような様子になっているのかわからなくなっています。それでも、他の地域に比べたら加須市付近には町民が集まつて暮らしているから、自分はこの料理の活動を続けます。避難している町民たちにもっと双葉の味を食べさせてやりたいと思うんです。久しぶりに同郷の顔を見て、ストレスを少しでも軽くしてもらいたいんです。「一緒に作って食べようよ、出てこないか。待っているよ」と町民にももっとと呼びかけたいですね。

「ふたば調理の会」は、毎月第四木曜日午前十時午後二時「男の料理教室」は毎月第二水曜日午前十時午後二時(聞き手:編集部・薄井)

避難先の住居に関して、お子様の成長、誕生などそれぞれのご家庭の状況の変化に伴って住み替えを希望する世帯は当然のように多い実情にあります。

しかし、応急仮設住宅は原則、県外から県内への住み替えが1回認められているだけで、この条件に当てはまらなかった住み替え世帯には、従来、東京電力が賠償を行う形で家賃を負担してきています。また、借上げ住居の申し込みが間に合わず、民間の住宅を借りざるを得なかった世帯の場合も同様です。

ところが東京電力は2015年8月に、政府の復興指針などを踏まえて、2018年3月をもって家賃賠償の打ち切ることを発表しています。これに対しては「同じ町民同士でも分断」が生じてしまうという問題がありますし「避難指示が解除されていないのに打ち切りはおかしい」という批判が相次いでいます。

2017年8月には、応

家賃賠償の継続・延長を願っています

急仮設住宅の無償提供が当面続くことが決まった大熊、双葉、浪江、富岡の4町は、無償提供を受けていない避難者に対する家賃の損害賠償期間を延長するよう、東電や国に求めています。

特に、大熊町と双葉町では合同で、帰還困難区域の復興と、家賃や住宅確保に関わる賠償について、吉野正芳復興大臣と世耕弘成経済産業大臣に要望書を提出しています。

この中でも特に注目すべき点は、2018年3月に終了見込みの家賃賠償の期間を仮設住宅の供与期間に合わせて延長すること、町への帰還を希望する町民も住居確保損害の賠償対象とすることについて世耕大臣と東京電力に対して提出したことについてです。

福島県の応急仮設住宅及び借上げ住宅の供与期間については、すでに2

019年3月まで延長が決定していますが、東京電力によれば家賃賠償の対象期間は2018年3月までとなっています。このように期限に差が生じる場合、居住形態により避難者の皆さんに格差が生じてしまことになります。

一方で、大熊町民、双葉町民の方の中には、ふるさとに帰還すべく、町内に新たな住まいの確保を求めている方もいらっしゃると思いますが、住居確保損害にかかる賠償の運用上、両町民においては移住に伴う避難先での住まいの確保しか選択出来ない状況となっている現状にあります。

ぜひ、避難を強いられる町民の居住形態によって格差が生じないように、家賃賠償の対象期間は、応急仮設住宅等の供与期間と合わせていただきたいと思います。また、住居確保損害にかかる賠償については、帰還を希望する全ての町民についても対象としていただきたいと思います。

ます。

期限が差し迫る中、本原稿執筆時点では、正式な回答が国および東京電力からなされていないようです。これらの動向について、引き続き注目するとともに、避難者の実情にあった対応を国および東京電力にお願いしたいものです。

(編集部／震災支援ネットワーク埼玉 愛甲)

本件に関するお問い合わせ、相談窓口

◆福玉相談センター

TEL：0120-60-7722（フリーダイヤル）

受付時間月～金曜日 9:00～17:00※祝日・年末年始を除きます

◆震災支援ネットワーク埼玉

TEL：048-826-5023

受付時間：毎日 10:00～18:00（相談対応中は留守電になりますのでメッセージをお願いいたします。）

福島原発事故責任追及訴訟第20回

訴訟後の報告集会では、当日の法廷でのやりとりを分かりやすくご説明します。ぜひ一度傍聴にお越しください。

【日付】2月21日（水）

【開廷】11:00・さいたま地裁101号法廷

【集会】裁判終了次第・埼玉総合法律事務所3F会議室

【交通】いずれもJR浦和駅西口より徒歩約10～15分

【詳細】<http://fukusaishien.com/>

【問合】048-960-0591（みさと法律事務所）

SSN&WIMA シンポジウム「首都圏避難者の孤立を防げ」&交流広場

【日付】2月24日(土) 13:30開場 14:00～17:00

【会場】早稲田大学 早稲田キャンパス

3号館 701教室 シンポジウム 3号館 702教室 交流広場

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

【内容】第1部:2017年度実施 避難生活アンケートよりー早稲田大学ワーキンググループからー

第2部:生活再建への困難な道のりー避難当事者の声ー

第3部:リレートーク～首都圏避難者の孤立を防げ（仮）～質疑応答

【詳細】<http://431279.com/event/20180224.html>

【問合せ】震災支援ネットワーク埼玉

desk@431249.comまたは048-829-7400



避難指示解除された地域・

宮城県・岩手県も、県営住宅枠があります

1月12日、さいたま市の市民会館
うらわにて、住宅説明会が開催され
ました。

今回の県営住宅の定期募集の申
し込み期日は1月21日までのため、
「福玉便り」がお手元に届く頃には
1月の分のメ切が終わってしまっ
ていますが、次回、4月にも募集が
ありますので、気になる方は、ぜひ
一度、住宅説明会に足をお運びくだ
さい(4月の住宅説明会の詳細は、
改めて「福玉便り」や「cocomon-
imoふくしま」にて告知いたしま
す)。

さて、タイトルにもある通り、こ
れまで「自主避難者枠」を設けてい
た県営住宅には、自主避難者の方々
に加え、2017年3月に避難指示
解除された地域の方々も応募対象
として含まれるとことです。別記
事にもある通り、家賃賠償の打ち切
りもあり(※東電は検討中とのこと
ですが)、また、借上住宅も、時期は
地域差はありますが、いずれ打ち切
られることが見込まれています。次
のお住まいの選択肢の一つに、埼玉
県の県営住宅をお考えの方は、次の
4月の住宅説明会にお越しになる
か、文章末尾の電話番号①にご相談

ください。

また、宮城県・岩手県から避難さ
れていらつしやる方で、元のお住ま
いを失われた場合は、「特定入居(抽
選なしでの入居)」が可能となるケ
ースがあります。応急仮設住宅が切
れそうだと、という方や、次のお住ま
いをお探しの方は、入居要件に合致
していれば、抽選は不要です。入居
条件等は、事前にご確認・ご相談を
してみてください。ご関心のある方
は、こちらも電話番号①にてご相談
ください。

県営住宅の定期募集は1・4・7・

10月ですが、いつでも募集している
県営住宅として、上尾シラコバト住
宅があります。こちらは、埼玉県が
避難者向けに条例を改正したため、
若い单身の方も入居資格がありま
す。また、収入要件も撤廃されてい
ます。県営住宅に入居したいけれ
ど、条件でいつも応募できない……
という方は、上尾シラコバト団地を
ご検討ください(電話番号①)。

また、民間賃貸アパートなどをお
考えの方で、どう決めたらいいか迷
っていらつしやる方には、「あんし
ん賃貸住まいサポート」という埼玉
県の制度があります。こちらは、住

宅を探しにくい方のお手伝いをす
るしくみです。「お手伝いします」と
手を上げてくれた不動産会社をリ
ストアップしていますので、丁寧な
対応をしてくれるそうです。リーフ
レットなど、必要な方は、下記の電
話番号②にご連絡ください。

説明会では、埼玉県職員の住宅課
の方々と、参加してくださった方々
と、さまざまなお話ができました。
お一人おひとりが違う状況を抱え
「これが正解」という支援施策がな
い中、埼玉県職員の皆さんが多様な
現状をふまえて解決しようとする
しが立たない不安を抱えている方
は、どうか遠慮せず、説
明会にお越しください
い。同じ境遇の方と言
葉を交わすことも解決
のきっかけになるかも
しれません。4月の説
明会では、お茶とお菓
子をご用意してお待ち
しております。

住宅問題を含む全般
的な相談は福玉相談セ
ンター(下記、電話番号
③)でもお受けしてい
ます。ご連絡お待ちし
ています。

(編集部 吉田)

①住宅供給公社:048-829-2875(県営住宅課)

②埼玉県住まい安心支援ネットワーク:048-829-2865

③福玉相談センター:0120-60-7722

第6回 みんなでつながろう in和光 チャリティーイベント&コンサート

日時 3/9(火) ~ 13(火) 場所/サンアゼリア

①写真展

3/9日(金)~13日(火)13:30~19:00

場所:展示棟

三春の動物シェルター写真展

母子避難~ダキシメルオモイ絵画展



②和光3・11つながりカフェ

10日(土) 13:00~16:00(開場
12:00)

場所:小ホール

第1部 「母子避難」対談~当事者の声に耳を傾ける~

【対談者】河井 加緒理さん(避難者)

吉田千亜さん(ルポライター、岩波新書「母子避難」著者)

第2部 「届け! 歌の力! ふるさとを想う」

~歌声ともしび コンサート~

③朗読・合唱コンサート (大ホール)

3/11日(日) 13:00~

16:00(開場12:30)

場所:サンアゼリア大ホール

費用:1,500円

内容:

第1部 合唱と朗読。

第2部「カンタータ大いなる故郷石巻」全楽章

石巻市民交響楽団・石巻合唱連盟有志



問い合わせ:

和光市社会福祉協議会 和光市ボランティアセンター048-

452-7606(月~金、9:00~16:00、土祝祭日休み)

和光3・11を忘れない実行委員会(斉藤090-5793-3800)

29 鳩のつどい
月2回 10:00～12:00
JAXA鳩山宿舎108号室
☎ 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)

32 福玉・謡曲の会
2/3(土)14:00～16:00セミナー室2
WithYouさいたま和室
☎ 090-6128-1948 (小林さん)

33 つながり
奇数月第一土曜日(1月はお休み)
毛呂山中央公民館
毛呂山町 ☎ 090-9032-8116 河井さん

1日(木)	3
2日(金)	
3日(土)	8
4日(日)	
5日(月)	
6日(火)	
7日(水)	14
8日(木)	19
9日(金)	2
10日(土)	
11日(日)	8
12日(月)	
13日(火)	
14日(水)	
15日(木)	1
16日(金)	
17日(土)	
18日(日)	3 15 25 27
19日(月)	
20日(火)	
21日(水)	
22日(木)	19
23日(金)	
24日(土)	10
25日(日)	
26日(月)	
27日(火)	
28日(水)	
29日(木)	
30日(金)	
31日(土)	

16 あゆみの会
2/10(土)あゆみの会新年会
10:00～13:00
越谷市東大沢1137CAFE
越谷市 ☎ 090-9425-2001(石上さん)

17 つながりの会
東北復興支援販売
草加市物産・観光情報センター
☎ 048-932-6770 (草加市社協地域福祉担当)

18 ひまわりの会
☎ 080-5431-0123 (島田さん・留守電)

19 さいがい・つながりカフェ
月2回木曜日11:00～15:00
2/22(木)、3/8(木)、3/22(木)
11:00～15:00
WithYouさいたま4F和室
2/4(日) WithYouさいたまフェスティバルに参加(10:00～11:45は和室でカフェ、12:30～13:00はステージで歌披露)
tunagari.saitama@gmail.com
(埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)
04さいがい・つながりカフェ ☎ 048-601-3111、tunagari.saitama@gmail.com

24 新座さいがい・つながりカフェ
新座市 ☎ 090-2402-9155 (谷森さん)

25 青空あおぞら
2/25(日)、3/18(日)
13:30～16:00新所沢公民館(お子様OK! 法律相談可)
所沢市 ☎ 048-829-7400(SSN)

27 おあがんなんしょ
2/18(日) 田舎料理をつくろう
10:00～ 上福岡公民館
3/18(日) 定例サロン「あんなこと、こんなこと」
13:00～ フクトピア
☎ 090-5345-8408(松館さん)

28 ここカフェ@川越
2月 ぼろろんと共催
3月 イベント企画中
☎ 070-5080-4494 (鈴木さん)

1 帰還支援アプリ紹介・スマホ初心者活用講座
2/8(木)10:00～12:00
春日部市民活動センター会議室(無料)すぎとSOHOクラブ
☎ 080-4725-1878

2 第6回 みんなでつながろう in 和光 3/9(金)～3/13(火)
※詳細は7ページ

3 なみえ焼そばクラブが「子ども・夢・未来フェスティバル」に出店
3/18(日) 10:00～14:00頃
(麺がなくなり次第終了 ※予約可能) 埼玉県民活動センター
☎ 090-9425-2001(石上さん)

3 双葉町老人クラブ女性会 & さいがい・つながりカフェ
2/1(木)、3/1(木)9:30～11:30
いきいきサポートセンター
(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
☎ 080-5532-7380(薄井さん)

4 加須ふれあいセンター
ふれあい食堂月～金の毎日(11時～13時は日替わり定食400円、13時から無料カフェ)
加須市正能11-5 ☎ 090-1650-2874(富沢さん)

5 すくすくのおそび広場
2/11(日) あそび広場
10:00～14:00 不動岡公民館
毎週木曜 中高生勉強会
17:00～19:00 市民プラザかぞ湯浅誠氏講演会 2/18(日)13:30～15:30
市民プラザかぞ5F活動室(無料)
☎ 090-2411-8598(戸恒さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
2/3(土)、3/3(土) 定例会合
10:00～12:00
しらこぼ団地和室
3/11(日) 東日本大震災追悼式
※詳細は1ページ
上尾市 ☎ 048-607-6723(団地自治会事務所)、☎ 080-3091-6215(橘さん)

10 くまがや結の会 熊谷市
3/24(土) 新年度事業案作り
食事処 和とう
090-7661-9236(林崎さん)

11 羽生つながりカフェ
☎ 080-5532-7380(薄井さん)

12 お茶っこふるさと会
久喜市 ☎ 090-6855-7140(木幡さん)

14 春日部つながりカフェ
2/7(水)
3/7(水)料理会(エプロン持参)
13:30～16:00コープラザ春日部(法律相談可能)
☎ 048-829-7400(SSN)

15 ひだまり広場
2/18(日)12:30～16:30
3/18(日) ともろカフェとの共催イベント13:30～16:30
ほっと越谷 参加費無料
☎ 080-5472-3056(市川さん)

1日(木)	3
2日(金)	
3日(土)	8 32
4日(日)	
5日(月)	
6日(火)	
7日(水)	14
8日(木)	1
9日(金)	
10日(土)	16
11日(日)	5
12日(月)	
13日(火)	
14日(水)	
15日(木)	1
16日(金)	
17日(土)	
18日(日)	5 15 27
19日(月)	
20日(火)	
21日(水)	
22日(木)	19
23日(金)	
24日(土)	
25日(日)	25
26日(月)	
27日(火)	
28日(水)	

1 双葉町民によるボランティアカフェ
2/15(木) 味噌づくり会(材料費1000円、先着40名様)
3/15(木) 10:00～15:00
いきいきサポートセンター
(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
加須市騎西501-13 ☎ 048-829-7400 SSN

「ぼろろん」の時間ですよ

イチゴ狩りバスツアー

を開催いたします！親子でのご参加も大歓迎です。ぜひご参加ください。定員がありますので、お早目にお申し込みください。時間の詳細は、お申込みいただいた方に個別にご連絡いたします。

- 日時: 2月11日(日)
- 会場: 苺の里(入間郡毛呂山町)50分食べ放題
その後、大穀鶴ヶ島店にてランチ
- バス発着(案): さいたま新都心→川越駅→苺の里→昼食→川越駅→さいたま新都心
- 問合せ: 鈴木 (070-5080-4494)

こちらのサイトにも情報があります。
<http://431279.com/>
(SSN震災支援ネットワーク埼玉)